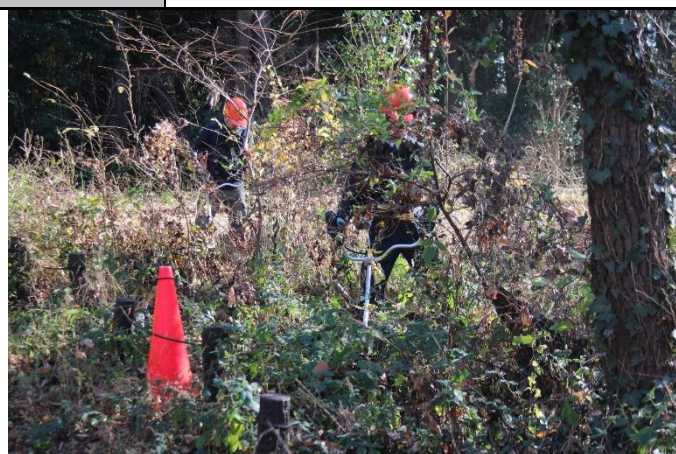


# 活動報告書

団体名：NPO相模原こもれび

活動場所	近郊緑地特別保存地区「木もれびの森」活動地		記録者	白川 泰嗣
活動日時	令和5年12月17日（日）9時00分～11時00分	天気	晴れ 13.7℃ 27%	
参加者	伊藤、小俣、開沼、加藤、川口、北村、黒岩、白川、田辺、田村、西畑、西原、平野、本田、三浦、目黒（一）、体験：渡邊			計17名
活動内容	森林保全活動			
使用道具	手鋸、手鎌、ロープ			
機器操作者	刈払い機		チェーンソー	
	白川、田村、西畑、西原、三浦、目黒（一）		浅川、川口、黒岩、白川、平野	
区域	H地区			
作業内容	①下草刈り、②林床整理、③伐木			



伐木前に、下刈りで作業環境を整えた



当NPOに分担された、ナラ枯れ被害木（#1）の伐木後



H地区でも、背丈を超える下草に悪戦苦闘した



ピンク色のテープは危険木なので、剥がさないで下さい

次回の予定：定例活動9:00～  
12月27日（水）イヌシデ広場集合  
1月13日（土）御嶽神社集合

イベント：

1月13日（土）森開き  
1月20日（土）新年会

☆ボランティア募集・経験不問☆  
第1土曜、2土曜、3日曜、4水曜の中  
から好きな日の午前に参加可。活動日  
の朝9:00前に長袖で来て下さい。

報告事項・トピックス

●飛び地のため森林保全活動をする機会が少なくなっているH地区で、ナラ枯れ被害により散策路への落枝や周辺の倒木が相次いでいるため閉鎖されている間に、当NPOの技量で処理できる範囲で散策路沿いの伐木を行った。  
●また、林内に対してはしばらく下草刈りができていなかったため、年末を迎えても旺盛な下草に悪戦苦闘しながらも、伐木対象木の周辺を中心に落枝や倒木を気にしながら、手鎌や手鋸、刈払機で伐木作業環境を整えた。  
●2011（H23）年と2013（H25）年に植樹した苗木はシイタケのホダ木に加工できる幹回りまで育ち、萌芽更新の時期に達しているため、先人らが往年に実施してきた利用目的のための間伐を計画したい。 以上